

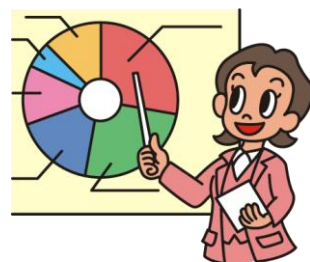
「ながらケータイ・スマホ」に関するアンケート調査

調査期間: 2014/4/10~4/12
調査方法: インターネット(携帯電話Web機能)による調査
調査対象: 新潟県内在住の15~78歳の男女(3591名)

● 調査結果概要 ●

新潟県民が、最近1年程度で見掛けた「ながらケータイ・スマホ」は、「歩きながら」で約9割、「車を運転しながら」で約8割。

車を運転しながら操作をしている人に対し、「危険を感じた事がある」新潟県民は6割以上。



性別では、女性より男性で、年代別では年代が上がるほど、「危険を感じた事がある」と回答。

社会問題にもなっている「ながらケータイ・スマホ」について、スピードリサーチ社が運営・管理する100off.comの新潟県内在住会員を対象に調査を行った。

最近1年程度で「ながらケータイ・スマホ」をしている人を見掛けた場面は、「歩きながら操作をしている人を見掛けた」と回答した割合が約9割で、最も割合が高い。「自動車の運転中に操作をしている人を見掛けた」で約8割、「自転車の運転中に操作をしている人を見掛けた」で約5割が回答している。「(この中の場面で)見掛けたことはない」と回答した人は、わずか2.6%だった。

「ながらケータイ・スマホ」をしている人に対し、8割以上が危険を感じた事があると回答している。危険を感じた場面は、「自動車の運転中に操作をしている人に対して危険を感じた事がある」と回答した割合が最も高く、6割を超えた。「自転車の運転中に操作をしている人に対して危険を感じた事がある」で4割強、「歩きながら操作をしている人に対して危険を感じた事がある」で5割を超えた。

危険を感じた場面を性別で見ると、どれも女性より男性で「危険を感じた事がある」と回答した割合が高い。女性では2割以上が「どれも危険を感じた事はない」と回答している。年代別で見ると、年代が上がるほど、「危険を感じた事がある」と回答した割合が高く、若年層ほど、「どれも危険を感じた事はない」と回答している。

「自動車の運転中に操作をしている人に対して危険を感じた」場面では、「蛇行運転」や「不安定なスピードで走行している(速くなったり遅くなったりする)」という迷惑行為に関する意見が多い。「センターラインを超えてきて、正面衝突になりかけた」という実際に危険な場面に遭遇した意見も見られた。停車中でも「交差点で信号待ちの時に、追突された」といった意見があった。見掛けた場所では「高速道路」や「バイパス」と回答する意見が散見された。

「ながらケータイ・スマホ」を行っている人を、周りの人はしっかりと見ており、危険だと感じた人も多い。実際に事故になっていないとしても、「ながらケータイ・スマホ」で事故を起こす可能性がこれだけあった事を、携帯電話やスマートフォンを使用する際に考えてみて欲しい。

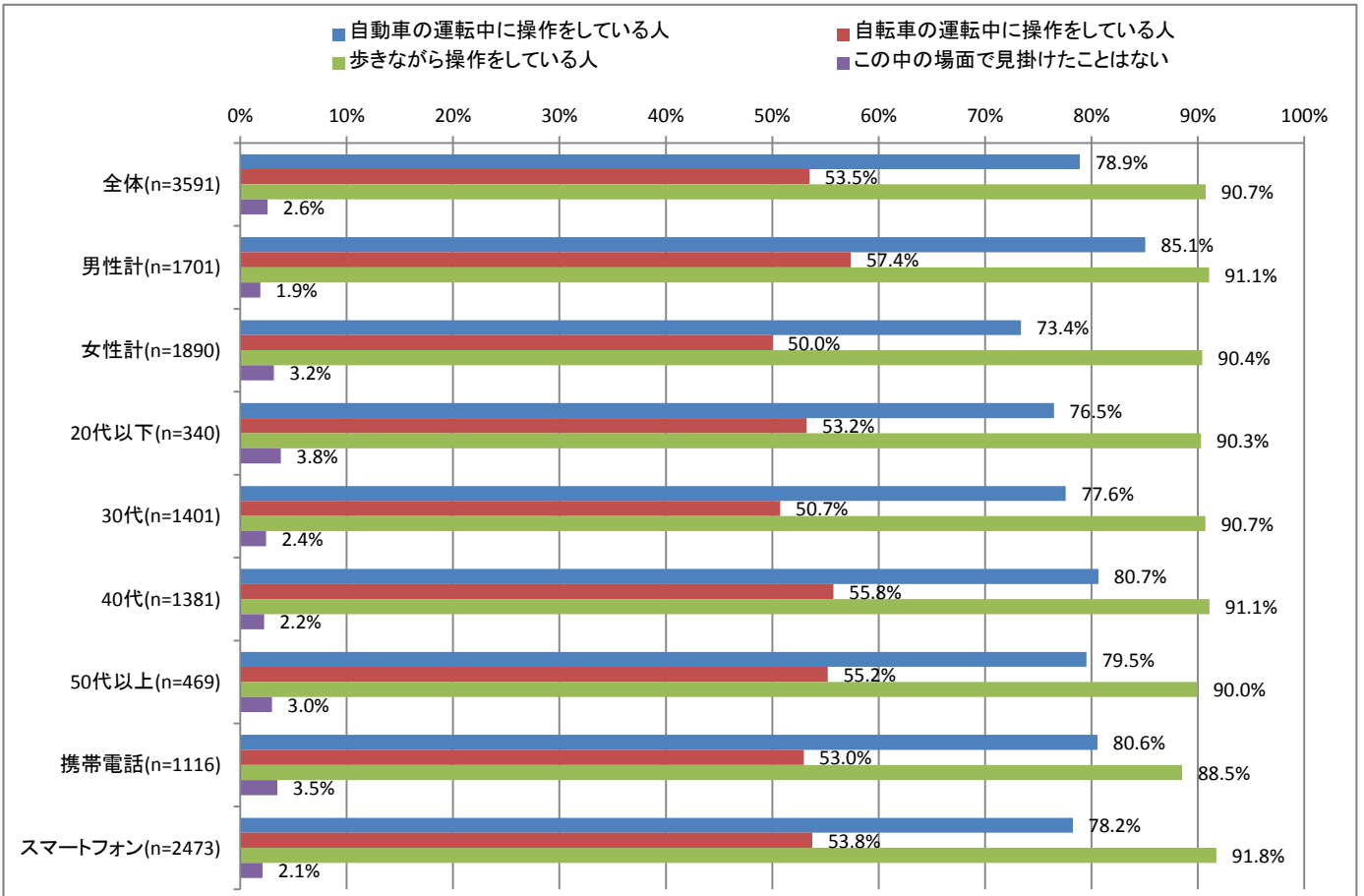
● 本件 お問い合わせ先 ●

 **株式会社スピードリサーチ** (担当: 栗林) 新潟市東区小金町1-7-1 NTT小金ビル
TEL: 025-270-3800 E-Mail: info@speed-r.co.jp

※本調査結果のご使用は原則無償です。ご使用いただく際は、事後報告でも構いませんので、ご一報願います。
※ご使用の際は【新潟県民のためのおトクなサイト「100off.com」による調査】と明記願います。

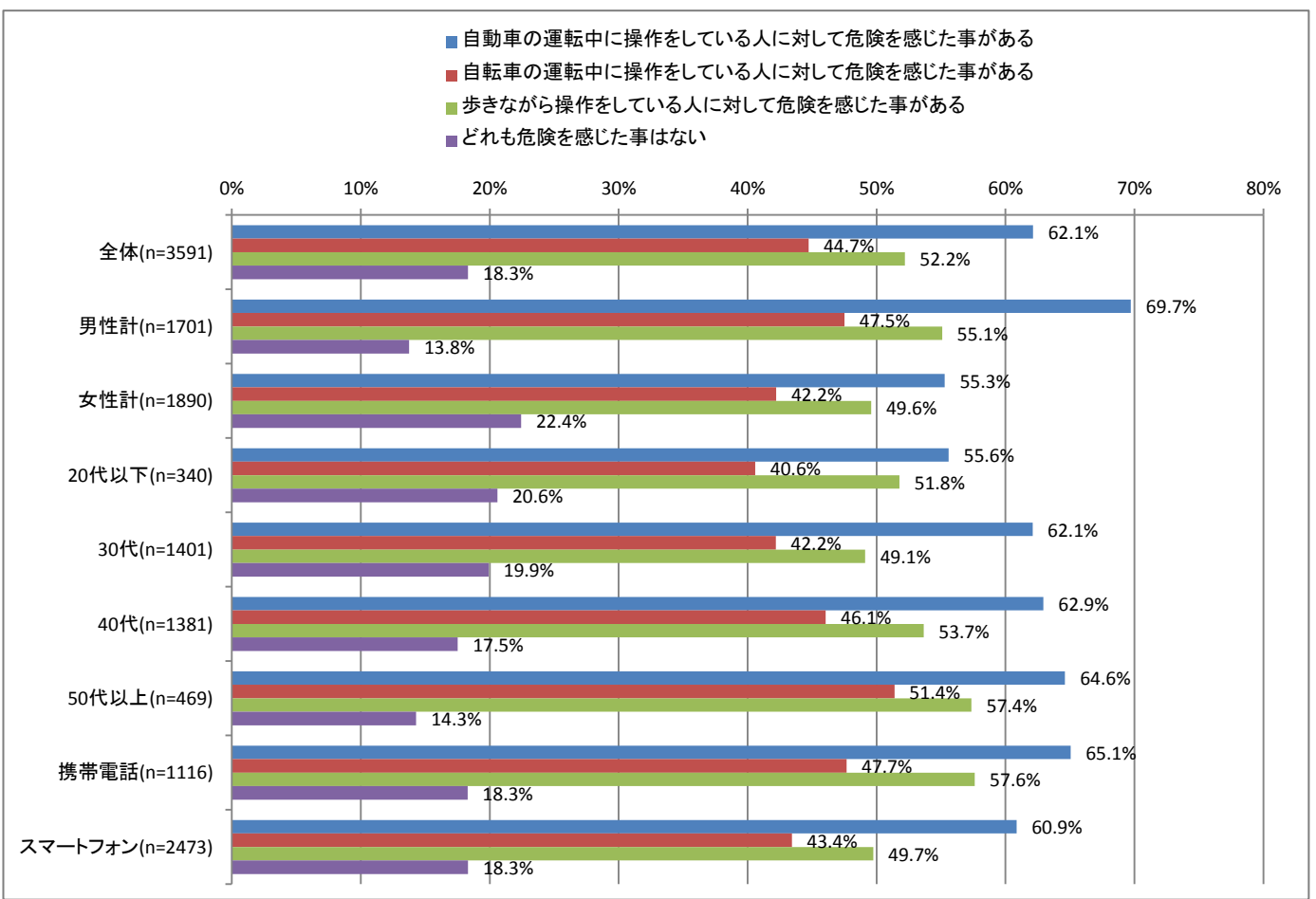
Q1. 最近1年くらいで、以下の場面でケータイ・スマホを操作している人を見掛けたことがありますか？（複数回答可）

全体、性別、年代別、使用機種別（機種不明を除く）



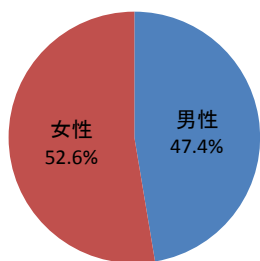
Q2. ケータイ・スマホの操作をしている人に対して、危険を感じた事があるものすべてをお選びください。（複数回答可）

全体、性別、年代別、使用機種別（機種不明を除く）

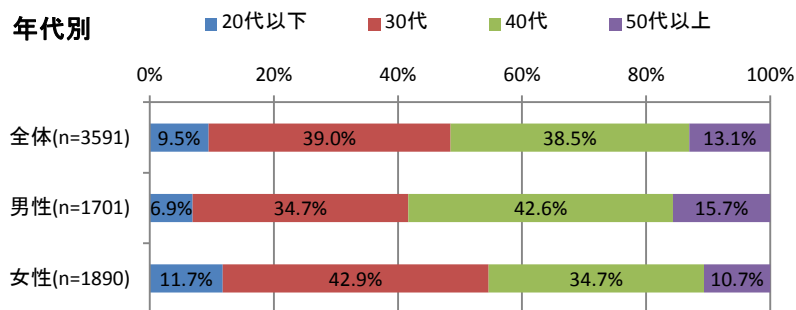


回答者属性

性別 全体(n=3591)



年代別



携帯機種別

